

「5年間（平成23～27年度）の復旧・復興事業の検証（仮称）」について

平成27年10月27日
震災復興・企画部

1 概要：

東日本大震災の発生から間もなく5年が経過し、宮城県の復旧・復興の歩みは、震災復興計画期間10年の折り返しを迎える。

発災以降、県内では、国内外からの多大な支援を受けて、復旧・復興に邁進してきたが、未だ本県の復興は途上であり、震災の風化も懸念されている。

このため、10年の折り返しに当たり、これまでの取組を検証し、今後の復興事業の展開に向けて、被災地の現状と課題を整理していくことが必要と認識している。

検証に際しては、復興事業の実績額を取りまとめるとともに、これまでの取組の全体像が理解できる内容とする。

2 対象：一般

3 成果物：数十ページ程度

4 公表時期：平成28年5月～6月予定

5 公表方法：県議会に報告後、県ホームページに掲載

6 事業費：復旧・復興事業費総額見込の数値を使用
県 → 将来ビジョン・震災復興計画掲載事業の積み上げ
市町村 → 調査に対する市町村からの回答

7 構成イメージ：別紙のとおり。詳細は今後調整

8 作業スケジュール：

月日	項目	内容
10/22（木）	震災復興本部幹事会	検証実施について協議
10/27（火）	震災復興本部会議	検証実施について協議
11/19（木）	県と沿岸15市町復興計画所管部課長会議	検証実施について説明
～1月	素案作成・部局確認	
1月中旬～3月	【市町村】復旧・復興事業見直し調査	事業費（10年間）の調査
	【県】ビジョン・復興計画掲載事業の調査	事業費（10年間）の調査
3月～5月	事業費集計・検証の最終確認（県・市町村）	
5月～6月	震災復興本部幹事会・本部会議、公表	検証の承認、公表

「5年間（平成23～27年度）の復旧・復興事業の検証（仮称）」の構成イメージ

項 目	内 容
（1）5年間（平成23～27年度）の復旧・復興事業全体の検証	
被害の概要	
各種支援措置・事業費の概要	
事業費	①主要政策7分野別事業費
	②年度別事業費
	③財源別事業費
	④事業区分別（災害復旧・交付金・復興枠・その他別）
復旧・復興の実績と課題	①被災者の生活再建
	②インフラの復旧・整備
	③住宅再建・復興まちづくり
	④産業となりわいの再生
（2）分野別の検証（県復興計画の分野）【概要・実績（主な事業の進捗率・事業費）・課題と取組の方向性】	
環境・生活・衛生・廃棄物	被災者の生活環境の確保
保健・医療・福祉	①安心できる地域医療の確保
	②住みよい地域社会の構築
経済・商工・観光・雇用	①ものづくり産業の振興，商業・観光の再生
	②雇用の維持・確保
農業・林業・水産業	①魅力ある農業・農村の再生，活力ある林業の再生
	②新たな水産業の創造
公共土木施設	①道路，港湾，空港，海岸，河川，ライフラインなどの整備
	②沿岸市町をはじめとするまちの再構築
教育	学校教育，家庭・地域の教育力，文化，スポーツ関連
防災・安全・安心	安全・安心な地域社会の再構築
（3）集中復興期間の特例的な制度等の検証【概要・実績（事業費／進捗状況／活用状況／成果等）】	
特区法／復興交付金	①特区法の概要・復興交付金交付額
	②市町の復興交付金による取組事例（主な事業と事業費）
復興交付金・基幹事業	主な事業の事業費総額（災害公営・防集・道路・区画整理）
／復興推進計画	復興推進計画の概要・認定状況
／復興整備計画	復興整備計画の概要・公表状況
緊急雇用創出事業	概要・成果
グループ補助金	概要・成果
復興基金	概要・活用状況
県へ寄せられた支援	①寄附金 概要・活用状況
	②人的支援 自治法派遣・任期付職員数の概要
（4）後半5年間（平成28～32年度）に向けた課題	
	「（2）分野毎の検証」の課題のまとめ